



学校だより

令和 5 年 1 月 1 9 日 文 責 校 長 林 寛



全国学校給食週間 1/24(火)～1/30(月)



1月24日(火)～1月30日(月)は「全国学校給食週間」です。日本での学校給食は、明治22年に山形県鶴岡町の小学校で始まりました。その後、全国に広まり実施されるようになりましたが、戦争による食料不足により中止せざるを得なくなりました。戦争が終わり、昭和21年12月24日に東京、神奈川、千葉の3都県の学校で試験給食が実施されました。それ以来、12月24日を「学校給食感謝の日」と定めていましたが、各学校の冬休みと重なることもあり、1/24～1/30までの1週間が「全国学校給食週間」となりました。

右の表は文科省のHPから引用した資料です。これを見ると、学校給食で使

用されている食塩の量が平成7年までと今とでは、半分になっていることがわかります。子供たちが食べている給食の味とお父さんやお母さんが食べていた味とは、違うものかもしれません。文科省のHPでは、他にも「給食の献立の決め方」や「給食の安心・安全はどのように守られているのか」など令和3年度の全国学校給食週間に関する資料がまとめられています。

名護屋小学校では、学校給食週間の期間中に級外の先生が各教室に入って 子供たちと一緒に給食を食べたり、呼子小から栄養士や調理員の先生に来てもらって子供たちと交流してもらったりすることにしています。

学校給食の味付けについて

学校給食のナトリウム(食塩相当量)は、1日の目標量の1/3未満を基準としています。給食を食べると薄味に感じることもありますが、それは濃い味付けに慣れてしまっているからかもしれません。給食では、「だし」を取って食材のうまを引き出すことにより、ナトリウム(食塩相当量)を抑えるなどの工夫も行っています。

一人一回当たりの学校給食のナトリウム(食塩相当量)基準の変遷

区分	平成7年度～	平成15年度～	平成20年度～	平成30年度～
小学校(低学年)	4g以下	3g以下	2g未満	2g未満
中学校			3g未満	2.5g未満

※～平成6年度は基準なし



文科省HPはこちらから↓

サイフの中身は？

子供たちのお正月の楽しみと言えば、今も昔も「お年玉」だと思います。最近は、電子マネーでのお年玉もあるというニュースをみて、少しショックを受けたのですが、子供たちが持っている財布の中身をご存知でしょうか？いくらぐらいのお金を持っていて、何に使っている(使おうとしている)のか？残りのお金はいくら？など、大人がきちんと関わることで、正しいお金の使い方や大切さを身につけてほしいと思います。お金が急に減った(増えた)、知らないうちに物が増えた等、気になることがあれば、学校にご相談ください。



日本国内で新型コロナウイルスの陽性患者が出てから、ちょうど3年になりました。昨今の頃は、「佐賀県内で陽性者が400人を超えた」ということが県内の大きなニュースになっていました。今は1000人を超える日があっても「今日は多くないな」と感じてしまいます。しかしながら、国内の死者の数は増加し、インフルエンザの流行も重なってくるなど安心できない日常が続いています。高校や大学の入試のシーズン、そして卒業式と子供たち自身とその家族にとって大切な節目を元気に迎えらるるようにするためにも、一人一人が感染対策に取り組んでいかなければなりません。

☆学校HP
はこちら
から ↓

